

満 観 峰

石井 清一

2010/04/04

参加者 29 名

リーダー 志村会長、水上、梅澤、石井

今年から読売文化センターの受付でなく、直接受付したので、振込みその他で不手際があり参加者に迷惑を掛けてしまった。

梅澤さんから紹介された富士山の展望台の満観峰(静岡県の低山)に参加者が集まるか心配していたが、募集定員を超える応募者があり、役員は補助席とし、応募者全員を連れて行く事にした。

過去、読売の時には3分の1のキャンセル者が出た時もあったが、4名のキャンセルが出て、補助席なしの満席で横浜天理ビル前を定刻前(6:58)に出発した。

横浜を出る時は予報通りの曇り、途中富士山がチラッと見えたが沼津付近では雨雲を思わせる様な雲が流れていて富士山も見えず、雨の降り出しが早くなるのではと思わせた。

今回、下見の写真を小型 PC に取り込んで、バスの中で回覧しようと考えたが下見の時に富士山が見えず、本番でも見えないのではと満観峰からの富士山の写真を別に取り込んで置いた。

しかし静岡に近づくと雲が薄くなり、薄日が射してきた。天気予報のおかげか車が思いのほか少なく順調に走り、9時17分に花沢の里の駐車場に着いた時には青空も出ていた。

花冷えの続いた今年の春は桜が長い。駐車場には下見の時(先月27日)の桜が11日の今日も咲いていた。

駐車場の隣のゲートボール場の隅で体操をし、集合写真を撮ってから班別に打ち合わせて出発する。(9:38)

初めのトイレで渋滞してしまう。少し先の登り口にもトイレがあるが写真写りが悪く、嫌われた様だ。

道端の花、古い家並み、無人販売のみかんと茹でた竹の子を見ながらお寺の先の登り口につく。

ここは日本坂峠からの下ってくる所なので、買物は帰りに。

始めは急坂の農道を登るがすぐに林の中の山道なる。日差しが無いが風もなく暑い。

一汗かいて鞍掛峠に着く。風が心地良い。満観峰を見て頂き、持参したミニ鯛焼き(味は8種類あり)を配る。

峠からは歩き易い道が満観峰を回り込む様になっている。林からお茶畑を抜けると広々した頂上に11時18分着く。

頂上に雲のかかった富士山を確認し、日陰を探して昼食とする。下見の時は寒い風を避けられる日当たりを探した事を思い出す。

ここで水上さんがアイスクャンディを配り出す。ガスコンロで湯を沸かして味噌汁を供する。

隠れ始めた富士山をバックに集合写真を撮ってから花沢山に向かってお茶畑を下る。

森林帯の稜線を登り下りして三角点のあるピークから急坂を下って鞍掛峠への分岐、さらに下って日本坂峠へ。

日本坂峠で花沢山に行かずに下山する人を募ると3人いたので、3人と細いジグザク道を下る。

花沢山に登るアタック組は行かずに峠で待つ人に荷物を預けて空荷で登り出す。

下山組が登山口のケーキを売っている民家でお茶している時に携帯電話で確認するとアタック組は頂上に着き、飲み終える頃、峠に戻っていた。無人販売を物色しながら駐車場に着いた頃、登山口に着いていた。

トイレと無人販売の物色と珍鳥厩舎見学でバラバラ戻ってくるアタック組みをゲートボール場の桜吹雪が出迎える。

全員が揃ってから集合写真を撮り予定では黒潮温泉に入る予定でしたが下見で市民マラソンの開催と重なり、断られていたのでフロ代分の500円を返金し、IC近くのお魚センターに直接向かう。

15時15分から買い物ゲームを30分楽しんでいる間に飲み物を仕入れる。

高速は順調に流れているが、渋滞の表示が大和より11Kmじきに25Kmの表示となる。その後は増える事もなく、25Kmの秦野中井手前1Kmで渋滞と遭遇する。

秦野中井 PA に入り、トイレを済まして渋滞に突入するが止まる事なくゆっくり流れており、40分程度で抜け出す、後は順調に走り横浜へは7時に着く事が出来た。

天気に恵まれ、手ごろな山を紹介していただいた梅澤さんとアイスクャンディを持ち上げた水上さんに感謝、私のザックで足の爪を傷めた会長に陳謝する山行でした。